

環境調査結果のお知らせ

平成25年1月21日午前10時から浦戸湾(高知市横浜・県漁協高知支所前岸壁)の環境調査をしましたので、結果をお知らせします。

水温・塩分(表1)

湾内の水温は9.38~15.51℃、塩分は25.67~33.39でした。前回調査時(H24.12.17)と比較して、水温は2~5℃低下、塩分は0~2上昇していました。

溶存酸素濃度(表1)

溶存酸素濃度は7.14~11.69mg/lで、0~2m層が前回より3mg/l上昇していました。

プランクトン(表2-3)

透明度は1.5mでした。

湾内では着色が確認され、検鏡の結果、魚類に対して有害なヘテロシグマ・アカシオが最高13,600cells/ml確認されました。今後の動向に注意が必要です。

海面の様子や魚等の生物の異常を感じたときは、良く洗ったペットボトルに海水を汲む等して、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

表1 水温・塩分・溶存酸素濃度

測定水深(m)	今回調査			前回調査(H24.12.17)		
	水温(℃)	塩分	溶存酸素(mg/l)	水温(℃)	塩分	溶存酸素(mg/l)
0	9.38	25.67	11.50	13.97	24.08	8.60
1	12.20	27.71	11.69	16.23	27.57	8.45
2	15.47	33.39	7.05	17.22	31.51	7.90
B-1	15.51	33.31	7.14	17.36	32.02	7.74

表2 水深・透明度

	今回	前回
水深(m)	3.5	4.0
透明度(m)	1.5	2.7

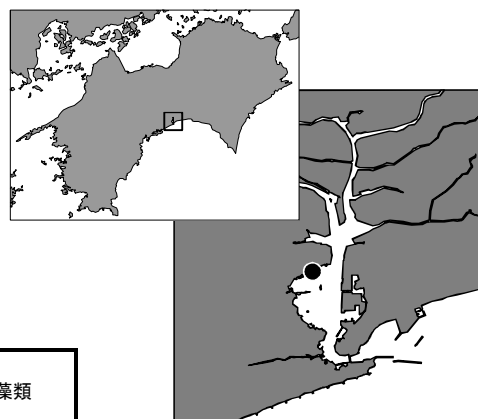


表3 プランクトン(cells/ml)

測定水深(m)	ヘテロシグマ・アカシオ	アカシオ・サンガイネア	ヘテロコプサ・ランセオラータ	ケイ藻類
0	8,650	1	1	5
1	13,600	3	1	8
2	10,600	4	1	31

漁業被害が想定される細胞密度
ヘテロシグマ・アカシオ:
10,000~50,000cells/ml(へい死)